

KEIKYU BUSINESS REPORT

第97期 2017年4月1日～2018年3月31日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

- P.2 トップメッセージ
- P.4 連結決算ハイライト
- P.5 セグメント情報
- P.6 トピックス
- P.8 特集 京急と横浜のあゆみ(前編)
- P.10 株主プレミアムイベント
- P.11 会社の概要

第97期定時株主総会決議ご通知



京急120年の歩み号



長崎電気軌道



大阪モノレール



ゆいレール

トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第97期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之



第97期連結決算の概要

当期の営業収益は、不動産事業、流通事業および鉄道事業等が好調に推移したことにより、3,156億8千5百万円(前期比1.9%増)となりましたが、不動産事業において、分譲土地におけるたな卸資産評価損を売上原価に計上したことなどにより、営業利益は294億7千4百万円(前期

比21.9%減)、経常利益は272億8千9百万円(前期比22.9%減)となりました。これに、前期に特別利益としてシティホテルの譲渡に伴う固定資産売却益を計上した反動などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は161億5千5百万円(前期比28.2%減)となりました。

来期の業績予想

来期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の通期連結業績予想を次のとおり見込んでおります。

- 営業収益は、大規模分譲マンションの売上計上や前期に取得した賃貸オフィスビル等の通期稼働を見込む不動産事業をはじめ、交通事業などが増収となるため、3,370億円(前期比6.8%増)となる見込みです。
- 利益面では、交通事業が動力費・燃料費等営業費

の増加などにより減益となるものの、不動産事業が前期にたな卸資産評価損を計上した反動もあり増益となることなどから、営業利益は360億円(前期比22.1%増)、経常利益は325億円(前期比19.1%増)、特別損益の改善もあり親会社株主に帰属する当期純利益は220億円(前期比36.2%増)を見込んでおります。

株主還元について

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要政策と位置づけ、安定した配当の継続を基本とし、業績や財務状況等を勘案して配当を行う方針としております。

当期の期末配当につきましては、本年2月に当社創立120周年を迎えたことを考慮し、1株あたり1円の特別配当を加えた8円といたしました。

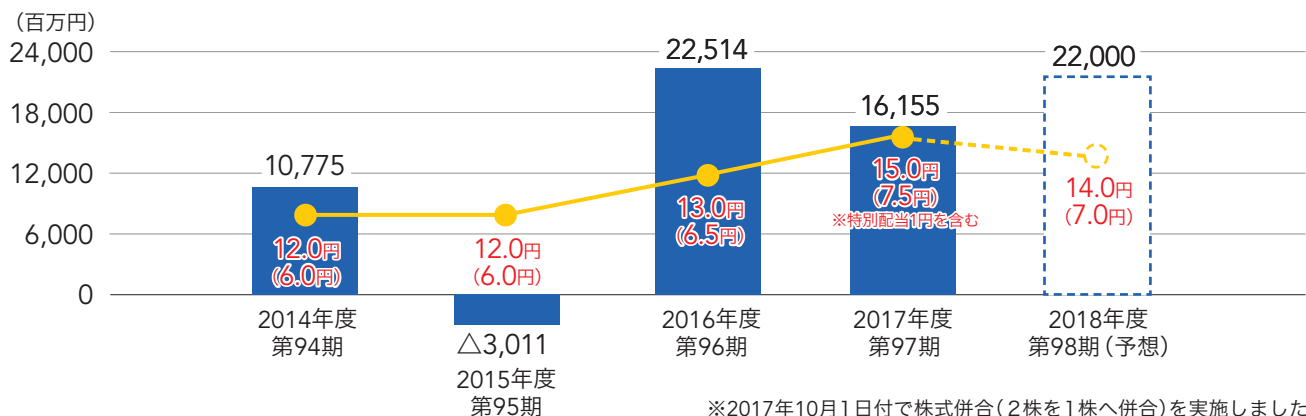
なお、当社は、2017年10月1日をもって、普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。中間配

当金として1株につき3円50銭をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は、株式併合前に換算いたしますと1株あたり7円50銭(中間配当金3円50銭、期末配当金4円)、株式併合後に換算いたしますと1株あたり15円(中間配当金7円、期末配当金8円)に相当いたします。

また、来期の年間配当金につきましては、1株あたり14円(中間配当金7円、期末配当金7円)を予定しております。

親会社株主に帰属する

当期純利益と配当金の推移



※2017年10月1日付で株式併合(2株を1株へ併合)を実施しました。カッコ内は株式併合前で換算した金額を記載しています。

▶ 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	前期末	当期末
資産合計	826,935	877,205
負債合計	587,295	623,840
純資産合計	239,639	253,365

●資産の部

賃貸オフィスビル等の取得に伴う有形固定資産の増加や投資有価証券の増加などにより、502億7千万円増加しました。

●負債の部

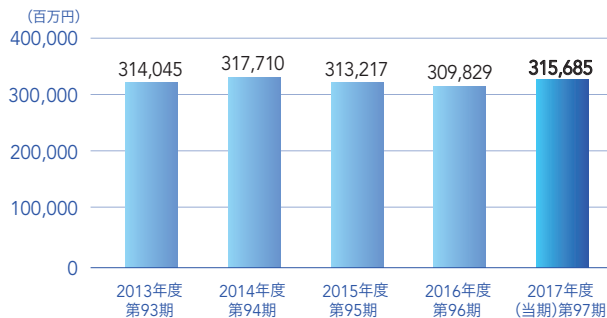
有利子負債および長期前受工事負担金の増加などにより、365億4千5百万円増加しました。

●純資産の部

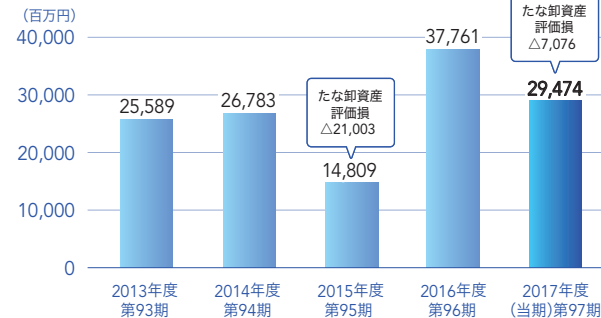
親会社株主に帰属する当期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加により、137億2千5百万円増加しました。

▶ 業績等の推移

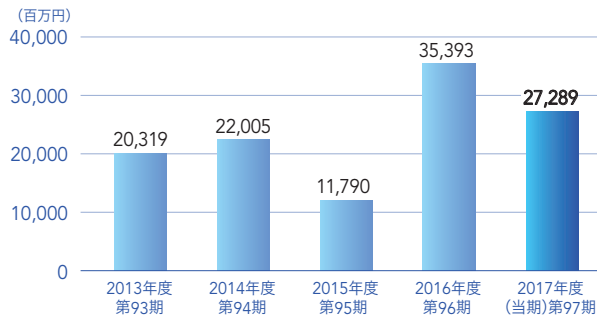
営業収益



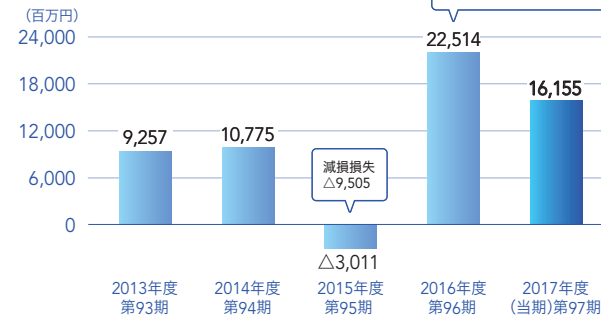
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)

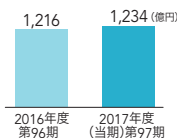


セグメント情報

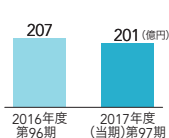
交通事業



営業収益
1,234億円
(前期比 1.5%増)



営業利益
201億円
(前期比 2.7%減)

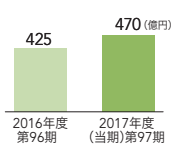


- 鉄道事業では、訪日外国人が増加し、羽田空港国際線ターミナル駅をご利用のお客様が増えました。また、都心方面および近距離区間の通勤旅客が増えたことなどにより、輸送人員は前期比で1.9%増加し、過去最高となりました。
- バス事業では、京浜急行バス(株)は、横浜駅・羽田空港～日光・鬼怒川温泉線の運行を開始するなど、羽田空港アクセスの利便性向上を図りました。また、川崎鶴見臨港バス(株)は、企業の進出が続く川崎市殿町エリアでの輸送需要に対応するため、日出町線において路線の延長および停留所の新設を実施しました。

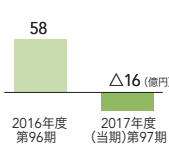
不動産事業



営業収益
470億円
(前期比 10.5%増)



営業利益又は営業損失
△16億円
(前期は営業利益58億円)

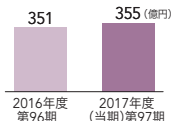


- 不動産販売業では、「リヴァリエC棟」を売却しました。また、引き続き当社および京急不動産(株)は、「プライム新杉田」、「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー」、「プライムパークス品川シーサイド ザ・レジデンス」および「プライムスタイル東日本橋」の販売を行いました。さらに、当社は、インドネシア共和国において、現地デベロッパー等と共同で分譲住宅の販売を開始しました。
- 不動産賃貸業では、交通結節点としてポテンシャルが高まる品川駅周辺エリアにおいて賃貸オフィスビル等を取得したほか、都心および横浜駅周辺エリアにおいて賃貸オフィスビルの信託受益権等を取得するなど、安定収益の確保を図りました。

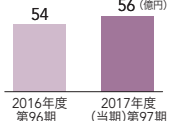
レジャー・サービス事業



営業収益
355億円
(前期比 1.3%増)



営業利益
56億円
(前期比 3.0%増)

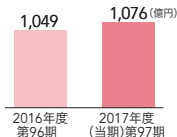


- ホテル業では、京急EXインは、ビジネス、レジャー需要を積極的に取り込み、新館を含めた各館が好調に稼働しました。また、当社は、羽田空港利用客を取り込むため、「京急EXイン 羽田」を開業したほか、「京急EXイン 浜松町・大門駅前(仮称)」および「京急EXイン 東京・日本橋(仮称)」の開業準備を進めました。これにより、京急EXインは、2020年度までに全館3,000室体制の目標を達成する見込みとなりました。
- レジャー施設業では、京急開発(株)は、「天然温泉 平和島」で、引き続き航空会社と共同でキャンペーンを実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。

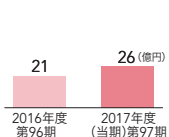
流通事業



営業収益
1,076億円
(前期比 2.5%増)



営業利益
26億円
(前期比 23.2%増)

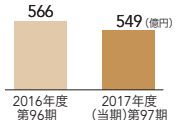


- 百貨店業では、(株)京急百貨店は、靴売場およびキッチン用品売場をリニューアルし、新規ブランドの導入を図るなど、顧客の獲得に努めました。
- ストア業では、(株)京急ストアは、高架下を活用した「京急ストア京急鶴見店」をリニューアルオープンしたほか、「京急ストア荏谷店」を開業しました。
- (株)京急ショッピングセンターは、高架下を活用した駅直結型商業施設「ウイングキッチン京急鶴見」を開業し、好調に推移しました。
- 物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、(株)セブンーイレブン・ジャパンと業務提携した駅構内や駅前の店舗が順調に推移しました。また、三浦市内において、小売店舗が少ない地域の住民の買物支援を図るため、移動販売サービス「セブンあんしんお届け便」を開始しました。

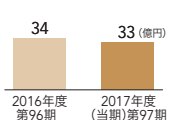
その他



営業収益
549億円
(前期比 3.1%減)



営業利益
33億円
(前期比 3.2%減)



- 京急建設(株)は、鉄道の安全対策工事等を行ったほか、地方公共団体から受注した建物改修工事等を行いました。
- (株)京急ファインテックは、他社の鉄道車両へのWi-Fi設置工事を受注するなど、収益の向上を図りました。

トピックス 1

基幹たる交通事業の基盤強化

羽田空港アクセスの利便性訴求

▶ 羽田空港国内線ターミナル駅開業20周年を記念した全国PRの展開

2018年11月に、羽田空港国内線ターミナル駅は開業20周年を迎えます。これを記念して、羽田空港との就航便がある全国各地において、当社の車両イメージを施した全面ラッピング車両の運行を開始し、当社空港線のPRを積極的に展開しています。

当社は、1998年の同駅開業以来、羽田空港国内線ターミナル駅から都心や横浜方面へのアクセスを担っており、ダイヤ改正による速達性や利便性向上を図ってきたことにより、多くのお客様にご利用いただいています。2017年度の同駅の利用者数は、1日平均90,516人(対前年3.9%増)、羽田空港国際線ターミナル駅を含めた、1日平均利用者数は116,552人(対前年5.2%増)となり、過去最高を記録しました。

今後も、全国各地で当社空港線の認知度向上を目的としたPRを積極的に展開するとともに、羽田空港をご利用のお客様の利便性向上を図っていきます。



大阪モノレール



広島電鉄



高松琴平電気鉄道



鹿児島市電

トピックス 2

賃貸事業の戦略的展開

賃貸オフィスビルの積極的な取得

▶ 賃貸オフィスビル等へ3棟で約200億円の成長投資を実施

不動産賃貸業の安定収益の確保を図るため、交通結節点としてポテンシャルが高まる品川駅周辺エリアにおいて、賃貸オフィスビル等を取得したほか、都心および横浜駅周辺エリアにおいて賃貸オフィスビルの信託受益権等を取得するなど、安定収益の確保を図りました。2017年度に取得した賃貸オフィスビルの平均稼働率は約97%と好調に推移しています。今後も地価の上昇や建設工事費の高騰リスクを踏まえ、幅広い投資により新たな収益基盤を確立していくことを目指してまいります。



芝パークビル(港区芝公園)



高輪エンパイヤビル(港区高輪)



TSプラザビル(横浜市神奈川区)

トピックス TOPICS 3

羽田における基盤強化の推進

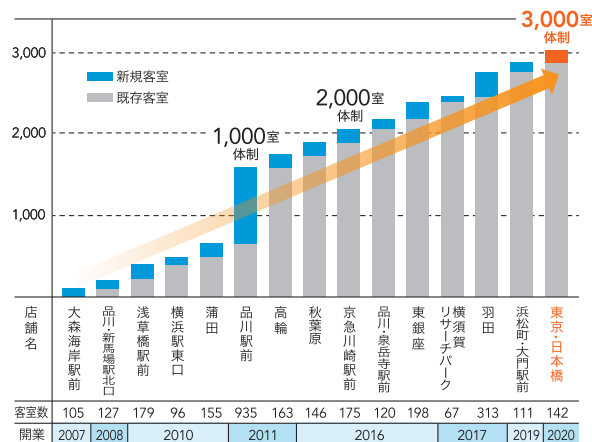
ビジネスホテル「京急 EXイン」の展開

▶ 2020年度までに全館3,000室体制の目標達成(予定)

2017年10月に、羽田空港の至近地に「京急 EXイン 羽田」を開業しました。新館を含めた各館が順調に稼働し、2017年度は平均稼働率が約9割と好調に推移しています。2019年春には「京急 EXイン 浜松町・大門駅前(仮称)」、2020年春には「京急 EXイン 東京・日本橋(仮称)」の開業を予定しています。これにより、2020年度までに全館3,000室体制の目標を達成する見込みとなりました。今後も、ビジネスホテル事業のさらなる拡大を目指し、積極的な新規出店を検討していきます。



京急 EXイン 羽田



※浜松町・大門駅前、東京・日本橋は計画中のため仮称

トピックス TOPICS 4

訪日外国人需要の取り込み

インバウンド施策の強化

▶ 「京急ツーリストインフォメーションセンター 品川駅」の新設

近年の訪日外国人増加に伴い、外国語でのご案内需要の高まりに応えるため、2018年4月に2か所目となる「京急ツーリストインフォメーションセンター 品川駅」を新設しました。従来の「観光案内」、「乗車券発売」や「手ぶら観光サービス」に加え、「伝統芸能を中心とした公演のチケット販売」など、より充実したサービスを提供し、ワンストップサービスの環境を整えています。今後も増加が見込まれる訪日外国人に当社グループの「おもてなし」を体感していただけるように、サービス・利便性の向上を行っていきます。



京急ツーリストインフォメーションセンター 品川駅



京急と 横浜のあゆみ（前編）

2018年2月25日、当社は創立120周年を迎えました。創立以来、横浜・東京方面の路線拡大を図り、沿線の皆様の暮らしを支える様々な事業を展開し、地域の発展に貢献してきました。特に、横浜と京急は深いつながりがあります。横浜への本社移転を2019年に控え、あらためてそのつながりをご紹介します。

日本初の標準軌電気鉄道、大師電気鉄道(株)が創立

1898(明治31)年2月、当社の前身である大師電気鉄道(株)が創立されました。京都市電、名古屋電気鉄道(のちの名古屋市電)に次ぐ国内3番目、関東では最初の電気鉄道が神奈川県に誕生しました。



大師電気鉄道開業に向けて1899(明治32)年に導入された二軸木造電車

川崎大師の参詣の足、六郷橋～大師間開通

1899(明治32)年1月、川崎大師参詣の足として、川崎(のちに六郷橋に改称、現在は廃止)～大師(現・川崎大師)駅間で、大師線の前身となる路面電車の運転を開始しました。

ただし、開業当時の営業距離はわずか2kmで全線単線。京浜間の路線の特許を得るために出された各者の案に対抗し、京急の創業者といえる立川勇次郎が「多数の出願者が各自主張する状態に対し、実際の施設を



日本初の1,435mmの軌間を採用

もって試験台となし、電鉄の模範を示さん」と他に先行して開通させました。

当初の目的であった品川～神奈川間を開通

同路線の開通以前に、大師電気鉄道の発起人である雨宮敬次郎らが品川～横浜間の特許を申請し却下された経緯がありました。この計画が再び動き出して有志が合同し、大師電気鉄道開通からわずか3か月後の1899(明治32)年4月、臨時株主総会で「京浜電気鉄道」への社名変更を決議しました。

そして、1905(明治38)年12月、京浜電気鉄道は当初の目的であった品川(現・北品川)～神奈川駅間を開通しました。



川崎～神奈川間の開通により、品川～神奈川間全通

関東大震災の2年後、湘南電気鉄道(株)設立

1923(大正12)年9月1日、関東一円に大惨事を引き起こした関東大震災が発生。京浜電気鉄道でも六郷川鉄橋および海老取川鉄橋が崩落したほか、発電所・変電所などの施設のほか線路や車両にも大きな被害が出ました。

この頃、横浜から浦賀、三崎方面へと三浦半島を一周する湘南電気鉄道が計画されており、同年8月に免許を取得しましたが、その5日後に震災が発生しました。経済環境が悪化し、会社設立すら危ぶまれるなか、発起人たちが安田財閥の資本参加を求め、安田系列に加わっていた京浜電気鉄道も参画することになりました。

1925(大正14)年12月には、湘南電気鉄道(株)の創立総会を開催。そして5年後の1930(昭和5)年4月、黄金町～浦賀駅間、金沢八景～湘南逗子駅(現・新逗子駅)が開通しました。



湘南電気鉄道の黄金町～浦賀駅間、金沢八景～湘南逗子駅間開通

横浜市内の延伸で京浜電気鉄道と湘南電気鉄道が接続

1931(昭和6)年には、横浜の市街地に高架橋を建設し、戸部～日ノ出町駅間にトンネル3本を掘削する難工事の末、横浜駅から延伸した京浜電気鉄道と湘南電気鉄道が日ノ出町駅でつながりました。

1933(昭和8)年4月からは、品川～浦賀駅間の直通運転を開始しました。両電鉄の直通により、横浜市内を縦断する私鉄が誕生し、また金沢文庫などの観光地も生み出すこととなりました。



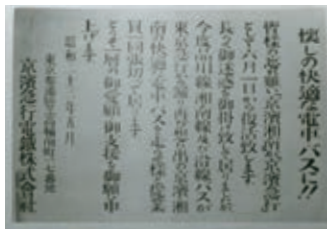
横浜～黄金町間の開通により、湘南電気鉄道と連絡線完成。横浜～浦賀間の直通運転開始

分離・独立の末、京浜急行電鉄(株)創立

1937(昭和12)年、日中戦争が始まり、日本は戦時体制に入りました。京浜・湘南の両社は、沿線に軍需工場や軍事施設が多く立地していることから輸送量が大きく増加しました。湘南電気鉄道の傘下にあった湘南半島自動車とともに3社が合併し、1941(昭和16)年11月に新たな京浜電気鉄道となりました。

その後、第二次世界大戦の経済統制下にあった1942(昭和17)年に小田急電鉄、東京横浜電鉄と合併して「東京急行電鉄」になり、2年後の1944(昭和19)年には京王電気軌道も加わりました。この時期に久里浜線[横須賀堀ノ内(現・堀ノ内)～京浜久里浜(現・京急久里浜)間]が、開通しています。

第二次世界大戦後、GHQ(連合国軍総司令部)の占領下で東京急行電鉄は解体され、かつて合併した各社がほぼ以前の形で分離・独立。そして、1948(昭和23)年6月、当社は社名を「京浜急行電鉄(株)」として、新たなスタートを切りました。



京浜急行電鉄・小田急電鉄・京王帝都電鉄3社がそれぞれ創立総会を開催し独立

戦後の高度成長期、さまざまな事業へ進出

当社は、1952(昭和27)年4月に機構改正を行い、沿線開発にも主力を注ぐことを経営方針として打ち出しました。以後、鉄軌道・自動車事業に加え、不動産・レジャー事業も大きな柱としていきます。

日本は1954(昭和29)年に始まった神武景気を皮切りに高度経済成長期に突入。同年、当社は戦後初の分譲地として横浜市南区の花の木地区を販売し、続いて弘明寺地区を販売。以後、不動産事業と沿線の観光開発を積極的に推進し、輸送人員の増加につなげていきました。



横浜市南区花の木の分譲地の販売を開始

さらなる発展を目指して開業・乗り入れ

1958(昭和33)年には神武景気を上回る岩戸景気も幕を開け、京浜工業地帯は大きく発展しました。

そのような時代背景のなか、当社は輸送力の増強を図り、1963(昭和38)年に京浜久里浜～野比(現・YRP野比)駅間が、1966(昭和41)年には三浦海岸駅まで延伸。一方、1968(昭和43)年には都営地下鉄との相互直通運転により、東京都心部への乗り入れも開始しました。

当社は、高度成長を支えながら、横浜を中心とした沿線地域とともにさらなる発展を目指しました。



三浦海岸駅開業
特急を終日10分間隔で運転開始



品川駅で行われた都心乗り入れの開通式

第98期中間期の続編に続く

株主プレミアムイベント

京急創立120周年記念

京急発祥の地を巡る 川崎大師見学ツアー

- ◆開催日
..... 2018年8月3日(金)
- ◆開催時間
..... 12時50分～17時00分(予定)
- ◆募集人員
..... 15組30名様
- ◆応募締切
..... 2018年7月13日(金)消印有効
- ◆当選者へのご案内
..... 2018年7月20日(金)発送予定



◆見学内容

京急創立120周年を記念して、今回の株主プレミアムイベントは、「大師線連続立体交差事業」の工事現場見学を中心に京急発祥の地である川崎大師を散策する見学ツアーを予定しております。

※昼食等のご用意はございません。

※工事現場は、バリアフリー対応ではございません。階段・段差などがございますので、予めご了承ください。

イベント参加申し込み方法

応募資格 2018年3月31日現在 株主の方

応募方法 はがき・ウェブ

はがきで応募される方

本誌裏表紙の応募券を貼り、以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

1. 株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
2. 同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
3. (同伴者が同居以外の場合のみ)
同伴者の郵便番号、住所、電話番号

【はがき】

上記1～4を
必ずご記入
ください

【応募券】

株主
プレミアム
イベント
応募券
第97期
期末

本誌裏表紙に
あります

【送付先】

〒108-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

ウェブで応募される方

1. 「京急電鉄IR」でウェブ検索します。 京急電鉄IR 検索
2. 京急電鉄ウェブサイトの「IR情報」にアクセスします。
3. 応募ページに進んでいただき、ログインパスワード
「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

会社概要

- 商 号 京浜急行電鉄株式会社
(証券コード 9006)
Keikyu Corporation
- 本 社 所 在 地 〒108-8625
東京都港区高輪2丁目20番20号
- 設 立 1898年2月25日
(前身の大師電気鉄道の設立)
1948年6月1日
(京浜急行電鉄の設立)
- 資 本 金 43,738,735,119円
- 発行済株式の総数 275,760,547株 ※自己株式を含む
- 株 主 数 26,136名
- グループ会社 58社(当社を含む)
- 従 業 員 数 8,891名(うち当社2,753名)

役員

- | | | | |
|------------------|-----------|-----------|---------|
| 取締役会長
(代表取締役) | 石 渡 恒 夫 | 取 締 役 | 浦 辺 和 夫 |
| 取締役社長
(代表取締役) | 原 田 一 之 | 取 締 役 | 渡 辺 静 義 |
| 取締役副社長 | 小 倉 俊 幸 | 取 締 役 | 川 俣 幸 宏 |
| 専務取締役 | 道 平 隆 | 取 締 役 | 佐 藤 憲 治 |
| 常務取締役 | 廣 川 雄 一 郎 | 常 勤 監 査 役 | 國 生 伸 |
| 常務取締役 | 本 多 利 明 | 常 勤 監 査 役 | 森 脇 朗 |
| 取 締 役 | 佐 々 木 謙 二 | 監 査 役 | 末 綱 隆 |
| 取 締 役 | 友 永 道 子 | 監 査 役 | 須 藤 修 |
| 取 締 役 | 寺 島 剛 紀 | | |
| 取 締 役 | 平 位 武 | | |
| 取 締 役 | 上 野 賢 了 | | |

第97期定時株主総会決議ご通知

報告事項	1. 第97期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第97期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)計算書類の内容報告の件 上記1、2の内容を報告しました。
決議事項	第1号議案 剰余金の配当の件 本件は、原案どおり承認可決されました。当期の期末配当金につきましては、当社普通株式1株につき金8円となりました。 なお、当社は、2017年10月1日をもって、普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。また、中間配当金として1株につき3円50銭をお支払いしておりますので、当期の1株あたり年間配当金は、株式併合前に換算いたしますと中間配当金3円50銭と期末配当金4円をあわせた7円50銭、株式併合後に換算いたしますと中間配当金7円と期末配当金8円をあわせた15円に相当いたします。 第2号議案 取締役15名選任の件 本件は、原案どおり承認可決されました。石渡恒夫、原田一之、小倉俊幸、道平隆、廣川雄一郎、本多利明、佐々木謙二、友永道子、平位武、上野賢了、浦辺和夫、渡辺静義、川俣幸宏、佐藤憲治の14氏が重任され、新たに寺島剛紀氏が選任され、それぞれ就任しました。なお、佐々木謙二、友永道子、寺島剛紀の3氏は、社外取締役であります。 第3号議案 監査役1名選任の件 本件は、原案どおり承認可決されました。新たに森脇朗氏が選任され、就任しました。なお、森脇朗氏は、社外監査役であります。 第4号議案 社外取締役の報酬額改定の件 本件は、原案どおり承認可決されました。取締役の報酬額については、引き続き年額550百万円以内(使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。)とし、社外取締役分の報酬額を年額75百万円以内へと改定いたしました。 以 上

お知らせ

- 期末配当金は、同封の「配当金領収証」により、お受け取りください。なお、銀行口座等への振込みをご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。
- すべての方に同封しております「配当金計算書」は、確定申告を行う際に、添付資料としてご使用いただけます。なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、確定申告を行う際の添付資料はお取引の証券会社にご確認ください。

株主優待のご案内

当社グループ施設株主優待券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

京急グループ施設
優待割引券(年2回)

● 100株以上ご所有のすべての株主様に所有株式数に応じた割引券を贈呈

【主なグループ施設の株主優待割引内容】

施設名	ご所有株式数		割引内容
	100～500株未満	500株以上	
京急 E X イン	NEW 2枚	4枚	客室料金から1,000円割引
観音崎京急ホテル	2枚	5枚	SPASSO 日帰り入浴料割引…… 大人平日900円(通常料金1,500円)／小人平日600円(通常料金1,100円) など
伊豆長岡温泉 京急ホテル	2枚	4枚	客室正規料金 …… 大人 2,000円割引／子供(小学生) 1,400円割引／幼児(3～6歳)1,000円割引 など
京急ストア・もとまちユニオン	20枚	40枚	50円割引 …… 1回1,000円以上(税込)のお買い上げごとに1枚利用可能
京急百貨店	5枚	10枚	5%割引 …… 1回1,000円以上(税抜)のお買い上げで利用可能



京急 EX イン



もとまちユニオン

● 100株以上2,500株未満ご所有の株主様

■ 電車・バス全線きっぷを発行

ご所有株式数	電車・バス全線きっぷ	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)
NEW 100～ 200株未満	—	2枚(注1)
200～ 500株未満	2枚	2枚
500～1,500株未満	4枚	4枚
1,500～2,500株未満	8枚(注2)	8枚(注2)

(注1) 毎年3月31日の基準日時点の株主様に限り年1回発行

(注2) 1,500～2,500株未満ご所有の株主様の電車・バス全線きっぷが2枚増えました。

● 2,500株以上15,000株未満ご所有の株主様

■ 電車・バス全線きっぷもしくは京急 E X イン宿泊券の **いずれか1つ選択**

ご所有株式数	電車・バス全線きっぷ		京急 EX イン無料宿泊券(シングル)	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)
2,500～ 5,000株未満	15枚	15枚	1枚	1枚
5,000～10,000株未満	30枚	30枚	2枚	2枚
10,000～15,000株未満	60枚	60枚	4枚	4枚

● 15,000株以上ご所有の株主様

■ **いずれか1つ選択** + 電車・バス全線きっぷ15枚(年2回) さらに3年以上継続の場合 ➡ + 電車・バス全線きっぷ15枚(年2回)

ご所有株式数	電車全線バス		バス全線バス		電車・バス全線きっぷ		京急 EX イン無料宿泊券(シングル)	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)
15,000～22,500株未満	1枚	1枚	—	—	90枚	90枚	6枚	6枚
22,500～30,000株未満	1枚	1枚	1枚	1枚	135枚	135枚	6枚	6枚
30,000株以上	電車・バス共通全線バス 1枚(年2回)				180枚	180枚	6枚	6枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バス、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。

(空港リムジンバスは、横浜駅(YCAT)・横浜駅西口～羽田空港線のみご利用になれます。)

※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

■ 単元未満株式の買取・買増制度、
特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00

☎ 0120-782-031

■ 当社株主優待等に関するお問い合わせは

京急ご案内センター

〈営業時間〉

平日 9:00～19:00

土・日・祝日 9:00～17:00

※営業時間に変更となる場合がございます。

ハロー・ハロー

03-5789-8686
または 045-441-0999



京急ご案内センター



※この冊子に掲載のイラスト・写真の無断転載を禁じます。



株主
プレミアム
イベント
応募券
第97期
期末